

平成28年度 岡山県環境審議会政策部会 議事概要

(開催要領)

1 開催日時：平成28年11月2日(水) 13:00～14:30

2 場所：ピュアリティまきび3階「飛翔」

3 出席者：

○委員(五十音順、敬称略)

岡本輝代志、河原長美、澁谷俊彦、高橋正徳、永富真理、野上祐作、宮林英子/計7名(欠席3名)

○事務局(県)

環境文化部次長、環境企画課長、新エネルギー・温暖化対策室長、環境管理課長、循環型社会推進課長、自然環境課長、事務局職員

議 題	新岡山県環境基本計画(エコビジョン2020)の見直しについて
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	【議事】 新岡山県環境基本計画の見直しについて
事務局説明	(環境企画課長が資料に基づき説明)
—委員意見— 意見1	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフが小さくて読みづらいのに対し、クールチョイスの画像などは大きすぎる。また図が荒くて見づらい。 ・ 用語集は県独自の語句なのか、国の語句なのかわかるようにしてほしい。また、「J(ジュール)の説明について、「100ワットの電球」の表現は、古くて現在の若者には伝わらない。 ・ マイバッグは廃止指標だが、後ろ向きな廃止理由でいいのか。一旦掲げた指標は伸び悩んでいても見せていくなど継続した方がよい。 ・ 前回の会議10月6日から今回までに、環境問題が新聞の社説で取り上げることが続いた。パリ協定、代替フロン、クマについて取り上げられている。計画策定の背景の辺りになるべく反映させてほしい。
環境企画課長	<p>グラフや図、用語集の記載については、見やすく、分かりやすいように修正する。</p> <p>フロンについては、フロン排出抑制法に基づき、適切な充填及び回収を指導</p>

<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p>	<p>する取組をしている。重点プログラムについては当面このような記載となるが、主要施策については、フロン類対策の推進という項目で代替フロンについて記載している。</p>
<p>循環型社会 推進課長</p>	<p>用語集のJ（ジュール）についても、今一度精査し、必要であれば修正する。パリ協定については、11月4日の発効が確実となっており、その点を書き加えたい。</p>
<p>自然環境課長</p>	<p>現計画のマイバッグ持参率70%の目標達成には、レジ袋の有料化が必要であり、呼びかけやポイント制を導入するぐらゐの取組では不可能な数字である。ご存じのとおり、県内でレジ袋の有料化の統一化が頓挫し、苦しい状況の中で70%を目指す目標は廃止とした。マイバックを持参しレジ袋を減らす取組は、プログラムの中に記載し、根気よく進めていきたい。</p>
<p>意見2</p>	<p>クマについては岡山県内でも出没多数となっている。ツキノワグマについては、今年度中を目途に保護計画の見直しに取り組んでおり、岡山県自然環境保全審議会に諮りながら検討する予定である。</p> <p>・マイバッグについて、自分の周りにはみんな持っているのにこんなに低いのか。マイバッグの使い方を啓発してはどうか。例えば、使用済みトレイをマイバッグに入れ、それをスーパーに持って行くようにすれば、毎日使うようになる。</p>
<p>循環型社会 推進課長</p>	<p>使い方については、今後良い案を考え、地域の人が集まる場で説明できるよう、市町村とも連携して取り組んでいきたい。</p>
<p>意見3</p>	<p>・用語集の選び方に基準はあるのか。ポピュラーなものと聞き慣れないものが混じっている。計画の中に入っていない文言は入っていないのか。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>計画を読む中で、ポイントとなるものが用語集に入っている。計画に出てこない用語は入っていない。</p>
<p>意見4</p>	<p>・生物多様性を大切にすべき理由は、遺伝子を減らしてはいけないからである。人間にとって有用であることがわからないといけない。特定外来生物についても区別がつくように用語の説明を書いてほしい。</p> <p>・代替フロンとパリ協定は同じところに記載したほうがいいのではないか。</p>
<p>自然環境課長</p>	<p>生物多様性と特定外来生物については、用語集に載っていないので追加する。その際、遺伝子の多様性についても触れたい。</p>

<p>環境企画課長</p> <p>意見 5</p>	<p>代替フロンについては、計画策定の背景の温暖化の項目にパリ協定の記載があるので、そこに追加する。また、用語集の中にも温室効果ガスの項目に代替フロンということが分かるように記載する。</p> <p>・代替フロンは増えているが、シェアとしては低いのか。</p>
<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p> <p>意見 6</p>	<p>県内の温室効果ガスのうち代替フロンは、シェアとしては低い。</p> <p>・単独浄化槽や水素の普及、景観団体など、指標の目標数値はどのような考え方で設定しているのか。</p>
<p>環境企画課長</p> <p>意見 7</p>	<p>指標の考え方は行政のレベルで努力をすれば達成できる、達成可能な現実的な数値として設定している。</p> <p>・類似自治体や全国のデータを参考に目標を立てているのか。</p>
<p>環境企画課長</p> <p>意見 8</p>	<p>全国的に比較できるものもあれば、県独自で定めているものもあり、一概にはいえない。</p>
<p>循環型社会 推進課長</p> <p>意見 8</p>	<p>浄化槽については、浄化槽、公共下水道、集落排水の全部合わせて普及目標の数値を考えており、人口密度の違いにより、全国的に数値は大きく違っている。</p>
<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p> <p>意見 8</p>	<p>国では、水素社会実現に向けたロードマップを示して施策を進めており、他県も取り組み始めている。本県としても、どういったことができるのか、検討していく必要があると考えており、重点プログラムとしては P. 40 のような内容で盛り込む案としている。まずは研究や情報発信など入口の取組であり、指標については「セミナー」と、「電気自動車等」の中に「FCV」を加えている。</p> <p>・コジェネなども水素関連になるのか。</p>
<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p> <p>意見 8</p>	<p>エネファーム（家庭用燃料電池）も「水素利活用」の一つ。取組としては、高効率の省エネ機器の導入促進といった中に、エネファームの普及拡大も含まれる。</p>
<p>環境企画課長</p>	<p>景観行政団体に関しては、景観計画未策定の市町村に対し、国で観光振興の面からも積極的な計画策定の働きかけをしていこうと取り組んでおり、県と</p>

	<p>しても未策定の市町村に働きかけを行い、目標達成に向け取り組みたい。</p>
<p>意見 9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性について、生物多様性「社会」、と記載したほうが、何をしたいかわかるのではないか。
<p>意見 10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進体制の見直しを検討していただきたい。新しく立ち上げたものは達成率が高く、何十年もやっていることは横ばいである。また、企業からすると、「行政がボランティアに期待しすぎている」という意見もあり、推進体制が弱ってきたのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定の背景のところで、外国からの訪問者がやってくることへの環境問題を取り上げてはどうか。先日京都に行ったが、ゴミの問題がとんでもないことになっている。オリンピック・万博等外国からの訪問者の増加が想定できる背景がある。 ・ レジ袋の廃止は残念だが、何十年やってきてこれでは仕方が無い。社会環境の変化のなかで環境問題についてどう取り組んでいくか考えるべきである。
<p>環境企画課長</p>	<p>行政の限られた予算のなかで、ボランティア等の力を借りながら取り組んでいきたい。推進体制について、次期計画のことも念頭に置きながら、効果的な施策を引き続き提供していきたい。</p>
<p>循環型社会 推進課長</p>	<p>外国人観光客の話ではないが、高齢化に対応したごみ処理対応に関しては、廃棄物の計画の方で考えているところである。</p>
<p>意見 11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成のために、元気なお年寄りを活用すべきである。環境関係でも、元気な年寄りを上手に生かす仕組みをつくり、活躍する場を提供する必要がある。
<p>循環型社会 推進課長</p>	<p>OBの方に廃棄物の監視員になっていただいたり、仕事を退職された方が地域の環境組織の方に御参加いただき、ゴミ拾いの活動等をしていただいたりしている。</p>
<p>意見 12</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ メガソーラー、住宅用太陽光発電のパネルの寿命が近づいている。今後発生が予想される大量のゴミはどうするのか。補助金を出して推進し、設置した後は勝手に処分してもらうのか。岡山は晴れの国で太陽光発電に向いている、との言い方についても、実際には日射が強すぎると発電効率は落ちるので、むしろ向いていない。

<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p>	<p>数年内にパネル廃棄の問題が大きくなっていくことは認識している。県独自の補助等は現時点では考えていないが、廃棄やリサイクルについては、国においてガイドライン等も整えられつつあり、それに沿って対策が進められるものと考えている。太陽光発電設置への県の補助は現在行っていないが、再生可能エネルギーの普及拡大は温暖化対策の柱であり、引き続き推進していく。「晴れの国」に関し、必ずしもマイナス面ばかりではなく、過去の県補助事業のデータからは、やはり本県では全国平均より発電量は多いとの結果も得ている。</p>
<p>意見 1 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大手メーカーであれば、引き取りを行うことは可能であるが、訪問販売で設置している家庭が多い。行政は推進しているが、耐震面で違反建築のおそれがあるなど実態を知らないことも多いのではないか。 ・CASBEE(キャスビー)や 省エネ法の性能評価を受け、適合した建物を県としてアピールすれば、クリーンな会社のイメージにもなる。
<p>環境企画課長</p>	<p>民間建築物等の省エネルギー化の促進の項目で、CASBEE については、直接は記載していないが、有効な整備手法の導入ということで記載している。</p>
<p>意見 1 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地について、過疎地域ではマイナスの資産価値になっており、解決することが環境問題にリンクしている。なんとかしなければいけない。
<p>意見 1 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に中山間地域では、水資源など地域の豊かな自然を生かしたエネルギーの地産地消により、外から人を呼び込むような取組が有効だと思う。
<p>新エネルギー・ 温暖化対策室長</p>	<p>P. 40 の「スマートコミュニティ」が、まさにそうした趣旨の取組である。地域づくりと地域のエネルギー対策は切り離せない問題だと感じており、豊かな自然環境を求めて岡山に移住してくる人も、地域資源を生かしたエネルギー自給の取組への関心は高いだろう。</p>
<p>意見 1 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の県における最大の環境問題は何か。少し前は 20 世紀最後の環境問題は児島湖と言われていたが。
<p>環境管理課長</p>	<p>児島湖については、一時期の悪臭、水質等の問題は改善してきているが、今は県民の関心が低下してきていることが問題である。</p>

以上